

取扱説明書

i·Switch™ UP2ex

USB 2.0&PS/2インターフェース対応
PC切替器

重要

ご使用前には必ず取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
この取扱説明書は大切に保管してください。



絵表示について

本書では以下のような絵表示を使用しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性がある内容、および物的損害のみ発生する可能性がある内容を示しています。



注意（警告を含む）を促すものです。



禁止の行為を示すものです。



行為を強制したり指示するものです。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取扱いをしてください。

Copyright© 2003 エイゾーサポートネットワーク株式会社 All rights reserved.

1. 本書の著作権はエイゾーサポートネットワーク株式会社に帰属します。本書の一部あるいは全部をエイゾーサポートネットワーク株式会社からの事前の許諾を得ることなく転載することは固くお断りします。
2. 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
4. 本製品の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、上記にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
5. 乱丁本、落丁本の場合はお取り替えいたします。販売店までご連絡ください。

Apple、Macintosh は Apple Computer Inc. の登録商標です。
PS/2、VGA は International Business Machines Corporation の登録商標です。
Microsoft、Windows、Windows NT は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
i-Switch は株式会社ナナオの商標です。EIZO は株式会社ナナオの登録商標です。
その他の各会社名、各製品名は、各社の商標または登録商標です。

もくじ



使用上の注意.....	4
第1章 はじめに.....	7
1-1. 商品概要.....	7
1-2. 特長.....	8
1-3. 梱包品の確認.....	8
1-4. 各部の名称.....	9
1-5. 動作環境.....	11
第2章 接続手順.....	12
2-1. コンソールに PS/2 キーボード、マウスを使用する場合.....	14
2-2. コンソールに USB キーボード、マウスを使用する場合.....	20
第3章 コンピュータの切替.....	22
切替方法.....	22
第4章 各種機能.....	23
4-1. ディップスイッチによる設定.....	23
4-2. ホットキー登録.....	26
4-3. パワーリクエスト.....	27
4-4. 節電モード.....	27
第5章 故障かなと思ったら.....	28
第6章 お手入れ.....	33
第7章 仕様.....	34
第8章 付録.....	36
Macintosh キー入力対応.....	36
アフターサービス.....	38

⚠ 使用上の注意

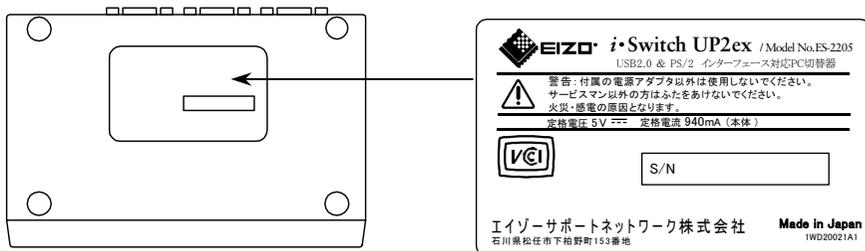
重要

- 本製品は、日本国内専用品として製造・販売されております。日本国外での使用に関して、当社は一切責任を負いかねます。

This product is designed for use in Japan only and can not be used in any other countries.

- ご使用になる前には、「使用上の注意」および本体底面の「警告表示」をよくお読みになり、必ずお守りください。

<警告表示位置> (底面)



⚠ 警告

万一、異常現象（煙、異音、においなど）が発生した場合は、電源アダプタとケーブルを抜いて販売店または当社に連絡する

そのまま使用されると火災や感電、故障の原因となります。



本体内部やケーブルを分解・改造しない

i-Switch UP2ex 本体内部およびケーブルの分解は故障の原因となります。また本体内部およびケーブルの改造は火災、感電の原因となります。



修理は販売店または当社に依頼する

お客様による修理は火災や感電、故障の原因となりますので、絶対におやめください。



液体を置かない

水やその他の液体、溶剤またはそれらを含んだ布などをキャビネットの上に置かないでください。キャビネットの内部に液体が入ると、火災や感電、故障の原因となります。



万一、キャビネット上に、液体をこぼしてしまった場合には、すぐに電源アダプタ（コンセント側）とケーブルを抜き、販売店または当社にご連絡ください。

警告

ぐらついた台や傾いた所など、不安定な場所に置かない

転倒・落下により、けがの原因となります。

万一、落とした場合は、すぐに電源アダプタ（コンセント側）とケーブルを抜き、販売店または当社にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。



次のような場所には置かない

火災や感電、故障の原因となります。

- 屋外。車両・船舶などへの搭載。
- 湿気やほこりの多い場所。浴室、水場など。
- 油煙や湯気が直接当たる場所や熱器具、加湿器の近く。



電源アダプタを抜くときはアダプタ本体部分（コンセント側）を持つ

電源アダプタを抜くときは、コードを引っ張らずに必ずアダプタの本体部分（コンセント側）を持ってください。コード部分を引っ張るとコードが傷ついて、火災、感電の原因となります。



ケーブルを抜くときはコネクタ部分を持つ

ケーブル部分を持って引っ張るとケーブルが傷ついて、故障の原因となることがあります。



次のような誤った電源接続をしない

- 付属の電源アダプタ以外は使用しないでください。また、表示された電源電圧（交流 100V）以外で使用しないでください。火災や感電、故障の原因となります。
- 付属の電源アダプタは i-Switch UP2ex 専用のもので、他の機器には使用しないでください。火災や感電、故障の原因となります。
- タコ足配線はしないでください。火災や感電の原因となります。



電源コードを傷つけない

電源コードに重いものをのせる、引っ張る、束ねて結ぶなどをしないでください。電源コードが破損（芯線の露出、断線など）し、火災や感電の原因となります。



雷が鳴り出したら、電源プラグやコードには触れない

感電の原因となります。



注意

運搬のときは、接続コードを外す

コードを引っ掛け、けがの原因となります。



重いものを置かない

キャビネットの上には、モニターのような重いものを置かないでください。
キャビネットの変形や落下事故の原因となります。



濡れた手で電源アダプタに触れない

感電の原因となります。



電源アダプタの周囲にもものを置かない

火災や感電防止のため、異常が起きたときすぐ電源アダプタを抜けるようにしておいてください。



電源アダプタ周辺は定期的に掃除する

ほこり、水、油などが付着すると火災の原因となります。



クリーニングの際はケーブル、電源アダプタを抜く

ケーブル、電源アダプタ（コンセント側）を差したままでおこなうと、感電の原因となります。



本製品を長時間使用しない場合には、安全および省エネルギーのため、電源アダプタ（コンセント側）を抜く



第 1 章 はじめに

このたびは当社 i・Switch UP2ex をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

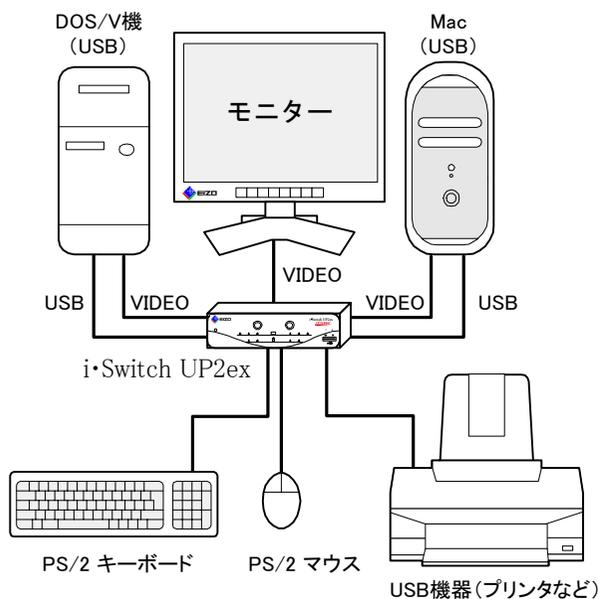
1-1. 商品概要

i・Switch UP2ex（以下 i・Switch）は 1 組のコンソール*で 2 台のコンピュータを操作可能にする PC 切替器です。PC との連動、独立切替を選択できる USB2.0&1.1 ポートを装備していますので、キーボード・マウスの他にも多彩な USB 周辺機器を切替えて使用することができます。

*コンソールとは操作する一組のキーボード、マウス、（モニター）のことです。

インターフェースは USB、PS/2 双方に対応していますので、コンピュータ、コンソールの自由な組合せが可能です。また、本体に PS/2 信号を USB 信号に変換する機能を内蔵していますので、DOS/V 機同士や DOS/V 機と Macintosh、USB 搭載機同士の切替操作がおこなえます。

< 接続例 >

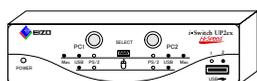


1-2. 特長

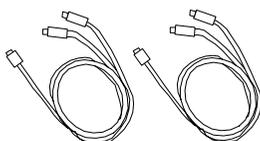
- USB と PS/2 のデュアルポートを装備していますので、お気に入りのキーボード、マウスが使用できます。
- PC との連動切替、独立切替を選択できる USB ポートを搭載していますので、USB 周辺機器との組み合わせ用途が広がります。
- 前面パネルでのインターフェース設定によって、PS/2 キーボード、マウスでも Macintosh を含む USB 搭載機の操作が可能です。
- コンピュータの切替を本体のセレクトボタンによる操作のほか、リモートスイッチやキーボード上のホットキーからおこなえます。ホットキーは任意のキーに登録できます。
- 本体に内蔵しているマイコンにより、常にキーボード、マウスの通信状態を監視しているため、安定した切替動作が可能です。
- 2 つの USB ハブコントローラを搭載したことにより切替時に生じるタイムラグを大幅に短縮し、切替直後もスピーディーに PS/2 キーボード、マウスの操作ができます。

1-3. 梱包品の確認

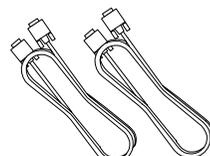
以下のものがすべて入っているか確認してください。万一、不足しているものや破損しているものがある場合は、販売店または当社にご連絡ください。



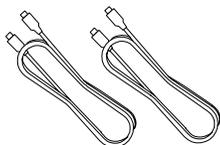
i-Switch UP2ex 本体



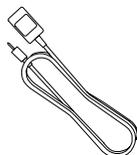
PS/2 専用ケーブル (2本)



ビデオケーブル (2本)



USB ケーブル (2本)



リモートスイッチ



電源アダプタ



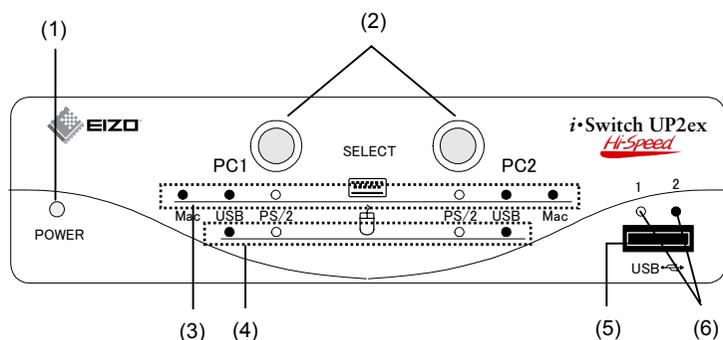
取扱説明書 (本書)

参考

- 梱包箱は i-Switch の移動や輸送用に保管していただくことをおすすめします。
- 取扱説明書 (本書) は使用上ご不明な点があったときに必要となりますので、大切に保管してください。

1-4. 各部の名称

前面



(1) 電源ランプ

色	状態
緑	パワーオン（電源アダプタ接続時）
オレンジ	パワーオン（電源アダプタ未接続時）
オレンジ点滅 ^{*1}	パワーリクエスト（電源要求状態）

(2) セレクトボタン（PC1、PC2）

色	状態
緑	コンピュータ選択側（PC 電源オン）
赤	コンピュータ非選択側（PC 電源オン）
消灯	コンピュータ未接続または電源オフ
緑点滅	インターフェース設定モード ^{*2}

(3) キーボード設定ランプ（PS/2 キーボード接続時有効）

色	状態
オレンジ	オペレーションモード
オレンジ点滅	インターフェース設定モード

(4) マウス設定ランプ（PS/2 マウス接続時有効）

色	状態
オレンジ	オペレーションモード
オレンジ点滅	インターフェース設定モード

(5) USB ポート 1（コンソール）

(6) USB セレクトランプ^{*3}

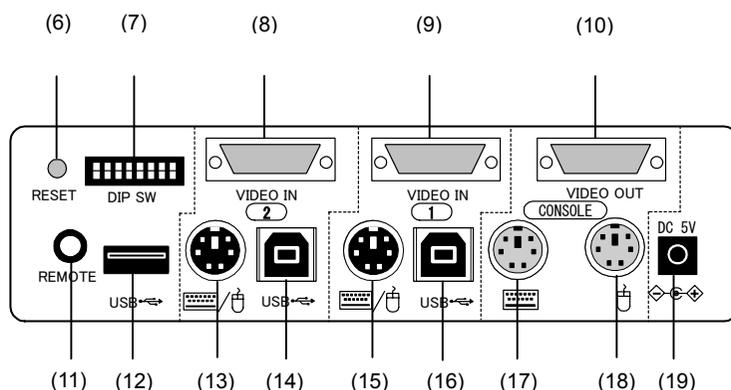
色	状態
青	前面 USB ポート選択側
青点滅	インターフェース設定モード

※1 電源ランプがオレンジに点滅する場合は、電源アダプタを接続する必要があります。(P.27参照)

※2 i-Switch とコンピュータ間のインターフェースを設定するときにこのモードに入ります。(P.15参照)

※3 電源アダプタを接続していない場合、USB セレクトランプは点灯しません。

背面



- (6) リセットボタン※4
- (7) ディップスイッチ※5
- (8) PC2 ビデオコネクタ
- (9) PC1 ビデオコネクタ
- (10) モニターコネクタ (コンソール)
- (11) リモートスイッチジャック
- (12) USB ポート 2 (コンソール)
- (13) PC2 PS/2 コネクタ
- (14) PC2 USB コネクタ
- (15) PC1 PS/2 コネクタ
- (16) PC1 USB コネクタ
- (17) PS/2 キーボードコネクタ (コンソール)
- (18) PS/2 マウスコネクタ (コンソール)
- (19) DC 電源入力

※4 キーボード、マウスの操作が不安定になったときに初期化します。また、インターフェースやディップスイッチの設定変更を有効にします。

※5 i-Switch の動作環境を設定します。(P.23参照)

1-5. 動作環境

コンピュータ	DOS/V 機 USB 対応機 (DOS/V、Apple Macintosh)
OS	Microsoft Windows 98 Second Edition / Millennium Edition / NT4.0 (SP6 以上) / 2000 / XP、 Apple MacOS9.1 以上/OS X、Linux [※]
モニター	アナログ入力対応モニター 推奨最大解像度：1600×1200 /最大ドットクロック：200MHz
マウス	PS/2 マウス、USB マウス (Microsoft IntelliMouse 互換品)
キーボード	PS/2 キーボード、USB キーボード (日本語 106/109 キーボード、 英語 101/104 キーボード)

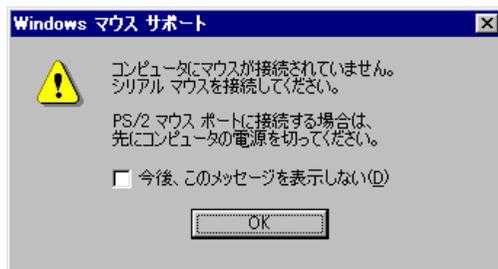
※ Linux でご使用の場合はディストリビューションのバージョンや、キーボード、マウスドライバの仕様により動作しない場合があります。Linux 動作確認情報は当社ホームページをご覧ください。なお、Linux の設定サポートは対象外となります。

第 2 章 接続手順

この章は使用するキーボード、マウスのインターフェースが PS/2、USB、またはそれらの混在の場合によって、説明が異なります。お使いになるキーボード、マウスがどちらのインターフェースであるか事前にご確認ください。

注意点

- USB 以外の各コネクタの抜き差しはコンピュータの電源をオフにし、電源プラグを AC コンセントから抜いた状態でおこなってください。電源が入った状態で抜き差しすると、故障の原因になります。
- 各コネクタへのケーブル接続は接続箇所を間違えないようにしてください。故障の原因になります。
- 各コネクタには接続の向きがあります。コネクタ接続部の形状を確認し、向きを合わせて接続してください。また、コネクタにネジが付いている場合は、外れないようにしっかりとネジで固定してください。
- Windows98 を使用して USB 接続する場合の注意点
 - － Windows98 をお使いの場合、i・Switch とコンピュータを最初に USB 接続するときは、マウスを直接コンピュータに接続した状態でコンピュータを起動してください。（マウスを接続せずに起動すると以下のようなエラーメッセージが表示され、操作ができなくなることがあります。）起動後、「ハードウェアの追加ウィザード」が表示されますので、通常は特に設定をせずにそのまま「次へ」ボタンを数回クリックし、ドライバのインストールを完了させてください。i・Switch は OS に含まれているドライバを使用しますので、専用のソフトウェアは必要ありません。



- － USB ケーブルのみで接続しているとき、コンピュータの起動中に切替操作をおこなう（非選択状態になる）と、コンピュータはキーボード、マウスが接続されていないと判断し、操作ができなくなることがあります。この場合は PS/2 ケーブルを接続しておくか、OS の起動が完了するまで選択状態にしておいてください。

- USB2.0 使用上の注意点

i・Switch には USB2.0 ハブコントローラが内蔵されていますが、USB2.0 対応周辺機器を i・Switch 経由で、USB2.0 ハイスピードモードで動作させるには、以下のハードウェアおよびドライバが必要になります。

1. USB2.0 ホストコントローラを内蔵したパソコン本体
2. USB2.0 ホストドライバ
3. USB2.0 ハブドライバ（本製品には USB2.0 ハブドライバは同梱されておりません。）

－ Windows XP/2000 をご使用の場合、マイクロソフト社より USB2.0 に対応したホストドライバおよびハブドライバが提供されています。マイクロソフト社製ドライバは Windows Update などダウンロードしてご利用ください。

－ Windows98/Me 上で USB2.0 インターフェースカードをご使用になる場合は、インターフェースカードに USB2.0 ハブドライバが同梱されている必要があります。USB2.0 ハブドライバが用意されていない場合は i・Switch を USB2.0 ポートに接続すると USB1.1 対応スピードで動作します。また、一部のインターフェースカードでは動作しないこともありますので、その場合は USB1.1 ポートに接続してください。詳しくは各インターフェースカードメーカーにご確認ください。

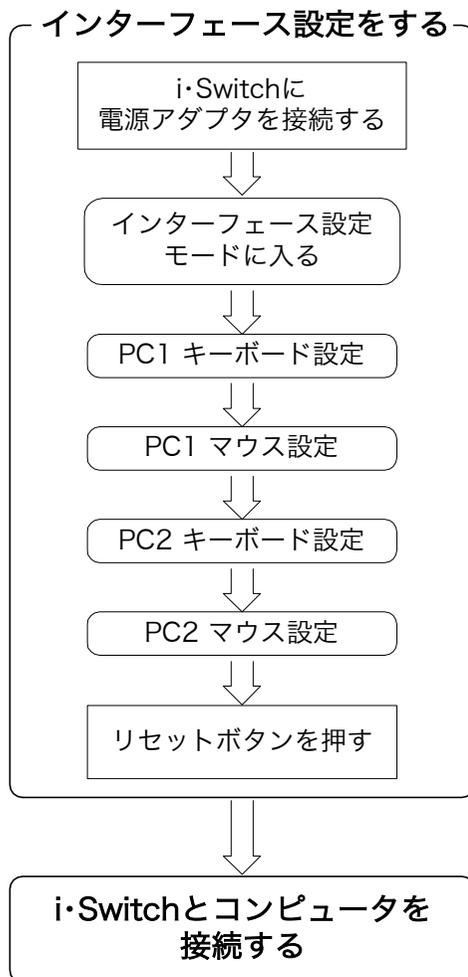
参考

- 初期設定では、選択していないコンピュータの電源が入ったときに、自動的に切替わるようになっています。この機能を無効にする場合はディップスイッチ 2 の設定を変更してください。（設定方法については「4-1 ディップスイッチによる設定」P.23参照）

2-1. コンソールに PS/2 キーボード、マウスを使用する場合

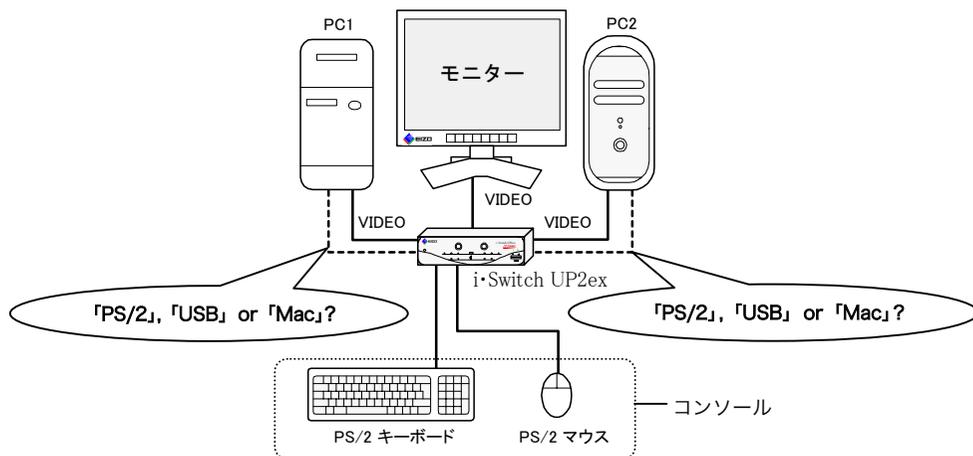
コンソールに PS/2 キーボードまたは PS/2 マウスを使用する場合は、コンピュータを接続する前にインターフェース設定をおこなう必要があります。

[設定・接続の流れ]



インターフェース設定をする

i・Switch とコンピュータ間をどのインターフェースで接続するか設定します。この設定により、PS/2 キーボード、マウスでも USB 搭載機や Macintosh の操作が可能になります。



インターフェース設定は次の中から選択し、PC1、PC2 のキーボード、マウスそれぞれに設定します。

設定	接続コンピュータ	動作概要
PS/2	PS/2 接続の DOS/V 機	PS/2 信号のままコンピュータと通信をおこないます
USB	USB 接続の DOS/V 機	本体内部で信号を PS/2 から USB へ変換します
Mac [*]	Macintosh (USB 対応)	本体内部でキーボード信号を PS/2 から USB へ変換し、更にキー配列を Mac 配列に置換えます

^{*}マウスには Mac 設定はありません。

参考

- 初期設定は PC1、PC2 とも「PS/2」です。
- USB キーボード、マウスを使用する場合はこの設定は必要ありません。

注意点

- コンピュータを接続後、インターフェースの再設定が必要な場合は、必ずコンピュータの電源を切ってから設定を変更してください。
- USB 接続で DOS/V 機を操作する場合は、マウスは Microsoft IntelliMouse 互換品として認識されますので、拡張ボタンは使用できないことがあります。

1. i-Switch に電源アダプタを接続します。

電源ランプが緑に点灯していることを確認します。

参考

- 電源アダプタを接続してそのままの状態にしておくと、1分後に節電モード (P.27参照) に入りランプが消灯しますが、そのまま手順 2 へ進んでください。

⚠ 警告

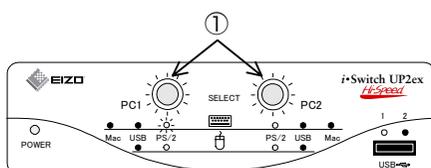
付属の電源アダプタを 100VAC 電源に接続して使用する

付属の電源アダプタは日本国内 100VAC 専用品です。

誤った接続をすると火災や感電の原因となります。



2. インターフェース設定モードに入ります。

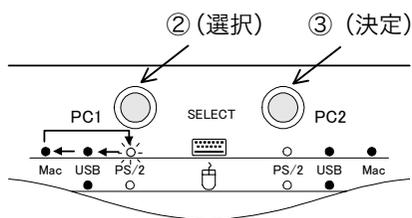


PC1、PC2 セレクトボタン (①) を同時に 3 秒以上押し続けます。両方のセレクトボタンが緑に点滅し、インターフェース設定モードに入ります。PC1 側のキーボード設定ランプが点滅します。

参考

- インターフェース設定モード時に何もしない状態が 15 秒以上続くとオペレーションモードに戻ります。その場合は、最初から設定をやり直してください。

3. PC1 のキーボードインターフェースを設定します。

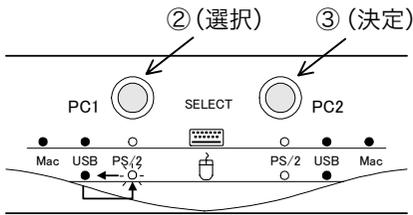


PC1 セレクトボタン (②) を押すと PC1 側のキーボード設定ランプが PS/2→USB→Mac の順に点滅します。PC1 と i-Switch 間のキーボードインターフェースを選択し、PC2 セレクトボタン (③) で決定します。PC1 側のマウス設定ランプが点滅します。

注意点

- キー配列が英語 (ASCII) の PS/2 キーボードで Macintosh を操作する場合は、ディップスイッチ 3 の設定を変更する必要があります。(設定方法については「4-1 ディップスイッチによる設定」P.23参照)

4. PC1 のマウスインターフェースを設定します。

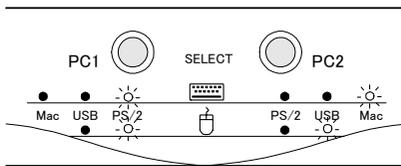


PC1 セレクトボタン (②) を押すと PC1 マウス設定ランプが PS/2⇔USB と点滅します。PC1 と i・Switch 間のマウスインターフェースを選択し、PC2 セレクトボタン (③) で決定します。PC2 キーボード設定ランプが点滅します。

参考

- Macintosh は USB 接続のみとなります。キーボードを「Mac」に設定するとマウスは自動的に「USB」になりますので、そのまま PC2 セレクトボタンで決定してください。

5. 同様に PC2 キーボード、マウスインターフェースを設定します。



PC2 マウスの設定を終えると、すべての設定ランプが点滅します。

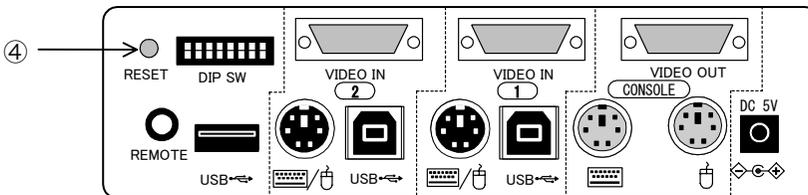
設定を変更しなかった場合は、PC2 のマウス設定が終わると、設定ランプは点灯状態に戻ります。この場合、手順 6 の操作は必要ありません。

注意点

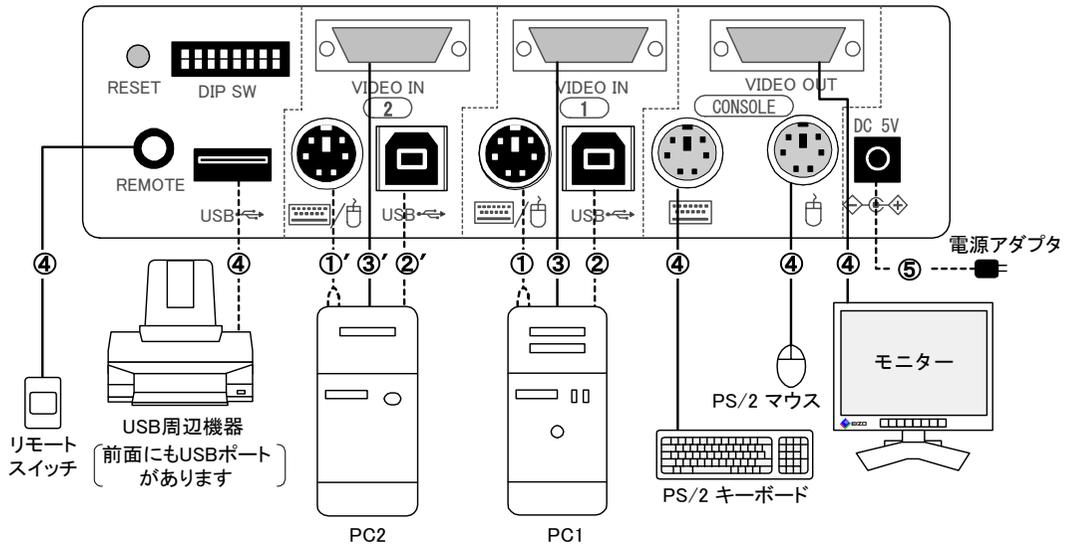
- USB 独立切替モード (P.25参照) の場合は、PC2 マウスの設定が終わると、両方の USB セレクトランプが青色に点滅します。ここではこのままもう一度 PC2 セレクトボタンを押し、すべての設定ランプを点滅させてください。

6. リセットボタンを押し設定を有効にします。

リセットボタン (④) を押すと設定ランプは点滅から点灯状態に戻り、変更した設定が有効になります。



i-Switch とコンピュータを接続する



1. コンピュータとモニターの電源を切り、キーボード、マウス、モニターを取り外します。
2. PC1 と i-Switch を接続します。
 - PC1 のキーボード、マウスコネクタと i-Switch の PC1 PS/2 コネクタを付属の PS/2 専用ケーブルで接続します。(①) (ケーブルコネクタ色: キーボード側は紫、マウス側は緑です)
PC1 のキーボード、マウスインターフェースとも「USB」または「Mac」に設定した場合は接続する必要はありません。
 - PC1 の USB ポートと i-Switch の PC1 USB コネクタを付属の USB ケーブルで接続します。(②)
PC1 のキーボード、マウスインターフェースとも「PS/2」に設定し、USB 周辺機器を接続しない場合は USB ケーブルを接続する必要はありません。
3. PC1 のビデオ出力コネクタと i-Switch の PC1 ビデオコネクタを付属のビデオケーブルで接続します。(③)
4. 同様に PC2 と i-Switch を接続します。(①' ②' ③')
5. i-Switch にキーボード、マウス、モニター、USB 周辺機器およびリモートスイッチを接続します。(④)
リモートスイッチでの切替操作をしない場合は接続する必要はありません。

6. i-Switch に電源アダプタを接続します。(⑤)

注意点

- USB 周辺機器に、ハードディスク、CD-RW、MO、フラッシュメモリなどのストレージデバイスを接続する場合、これらを切替える前に、必ず「デバイスの安全な取外し」作業をおこなってください。また、これらのデバイスへアクセス中は絶対に切替えないでください。誤った使用によるデータの損失、破損などにつきましてはいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

参考

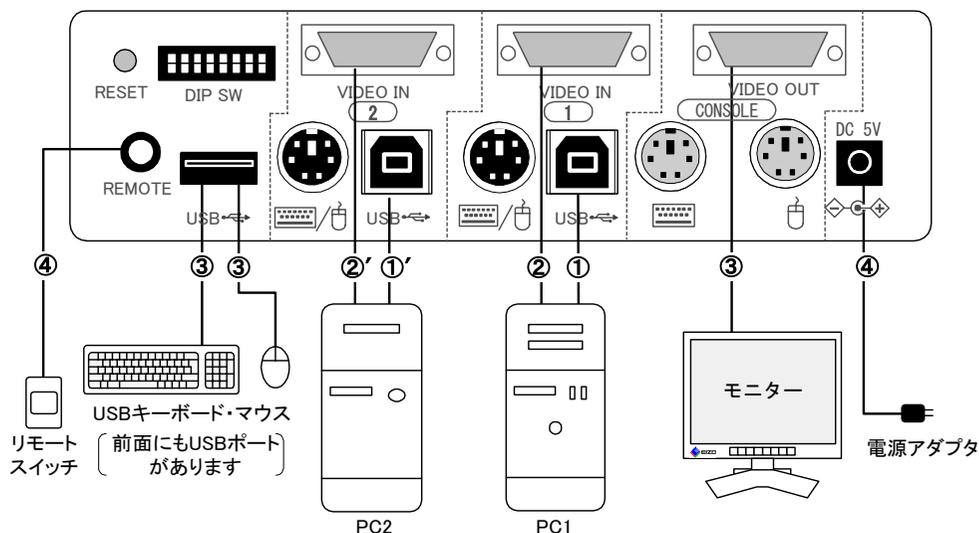
- PS/2 接続のみで使用する場合は、電源アダプタを接続しなくても動作します。ただし、消費電力の大きいキーボード、マウスを使用した場合は電圧が低下し、電源ランプがオレンジに点滅しますので、その場合は電源アダプタを接続してください。(「4-3 パワーリクエスト」P.27参照)

7. コンピュータの電源を入れます。

2-2. コンソールに USB キーボード、マウスを使用する場合

コンソールに USB キーボード、マウスを使用する場合は、インターフェース設定ランプは関係ありません。どの設定でも正常に動作します。

i-Switch とコンピュータを接続する



1. コンピュータとモニターの電源を切り、キーボード、マウスおよびモニターを取り外します。
2. PC1 の USB ポートと i-Switch の PC1 USB コネクタを付属の USB ケーブルで接続します。(①)
3. PC1 のビデオ出力コネクタと i-Switch の PC1 ビデオコネクタを付属のビデオケーブルで接続します。(②)
4. 同様に PC2 と i-Switch を接続します。(①' ②')
5. i-Switch にキーボード、マウス、モニターおよびリモートスイッチを接続します。(③)
リモートスイッチでの切替操作をしない場合は接続する必要はありません。

6. i-Switch に電源アダプタを接続します。(④)

7. コンピュータの電源を入れます。

注意点

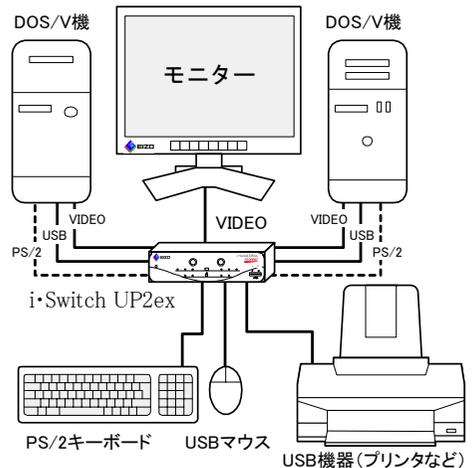
- USB キーボードを使用して DOS/V 機と Macintosh を切替える場合は、機種間の違いにより、かなキーなど一部使えないキーがあります。その場合はショートカットキーを使うか、日本語入力システムのキー割り当てを変更するなどしてください。(詳しい方法については OS またはシステムのヘルプを参照ください。)

参考

- 下図のようにキーボードとマウスのインターフェースが異なる場合でも、設定や接続を正しくおこなえば使用できます。

<例>PS/2 キーボードと USB マウスを使用して DOS/V 機を操作する場合

- インターフェース設定でキーボードを「PS/2」または「USB」に設定します。マウスはどの設定にしても正常に動作します。
- i-Switch とコンピュータ間を USB ケーブルおよび PS/2 専用ケーブルで接続します。キーボードインターフェースを「USB」に設定した場合は PS/2 専用ケーブルを接続する必要はありません。
- 空いている USB ポートは USB 周辺機器を接続することができます。このとき前面の USB ポートに接続すれば、PC との独立切替も可能です。(P.25 参照)



第 3 章 コンピュータの切替

切替方法

コンピュータを切替えるには以下の 3 つの方法があります。

● 本体のセレクトボタンで切替える

本体のセレクトボタンを押すと、選択したコンピュータへ切替わります。選択側のボタンは緑に点灯し、非選択側のボタンは赤に点灯します。コンピュータの電源が入っていない場合はセレクトボタンは点灯しません。

● リモートスイッチで切替える

リモートスイッチを本体に接続している場合は、リモートスイッチのボタンによって切替えることができます。

● キーボード上のホットキーで切替える

PS/2 キーボードを使用している場合は、**Ctrl** キーを 2 回続けて押すことで切替えることができます。また、ディップスイッチ 1 を任意キー（オフ）に設定すると、任意のキーをホットキーとして使用することができます。登録方法については「4-2 ホットキー登録」（P.26）を参照ください。

参考

- USB 独立切替モード時の前面 USB ポートの切替えは、リモートスイッチやホットキーを使用しておこないます。切替方法については P.25 を参照してください。
- USB キーボードを使用している場合はホットキーは使えませんので、本体のセレクトボタンまたはリモートスイッチで切替えてください。
- USB 接続をしている場合は、USB デバイス認識中の切替による不安定動作を防止するため、4 秒間の再切替禁止時間を設けています。この間、セレクトボタンは緑に点滅します。

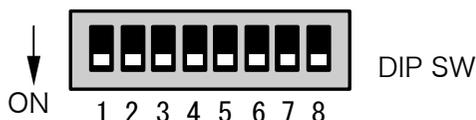
第 4 章 各種機能

4-1. ディップスイッチによる設定

ディップスイッチは i-Switch の動作環境を設定するスイッチです。ご使用の環境に合わせて設定してください。初期設定はすべてオンになっています。

設定方法

1. 両方のコンピュータの電源を切る。
2. ディップスイッチの設定を変更する。
3. リセットボタンを押して設定を有効にする。



スイッチ	設定項目	ON (初期設定)	OFF
1	ホットキー	Ctrl 2 回押し	任意キー
2	コンピュータ自動切替	有効	無効
3	PS/2 キーボード 配列 ^{※2}	日本語 (JIS) 配列	英語 (ASCII) 配列
4	command⇔option キー入替 ^{※2}	標準	入替
5	節電モード	有効	無効
6	USB 切替設定 1	組合せは P.25参照	
7	USB 切替設定 2		
8	リモートスイッチ切替モード	PC 切替	前面 USB ポート切替 ^{※3}

※1 PS/2 キーボードのみ有効

※2 PS/2 キーボードで、Mac 設定時のみ有効

※3 USB 独立切替モード (P.25参照) 以外は、常に PC 切替になります。

1. ホットキー

切替に使用するホットキーを選択します。任意キー (オフ) に設定した場合は、4-2 ホットキー登録 (P.26) を参照してキーの登録をしてください。

2. コンピュータ自動切替

コンピュータの電源をオンまたはオフにしたときの切替動作を設定します。

オン（有効）：選択していないコンピュータの電源が入ったときや選択しているコンピュータの電源を切ったときに自動的にもう一方に切替わります。

オフ（無効）：自動切替をおこないません。

注意点

- コンピュータによっては、電源を切った後もキーボードに電源を供給しているモデルがあります。その場合、自動切替は正しく動作しないことがあります。
- i-Switch は USB 切替時のフリーズ・不安定動作を防止するため 4 秒間の自動切替禁止時間を設けてあります。そのため USB 接続されたコンピュータを続けて起動させると自動切替が正しく動作しないことがあります。

3. PS/2 キーボード配列（Mac 設定時のみ有効）

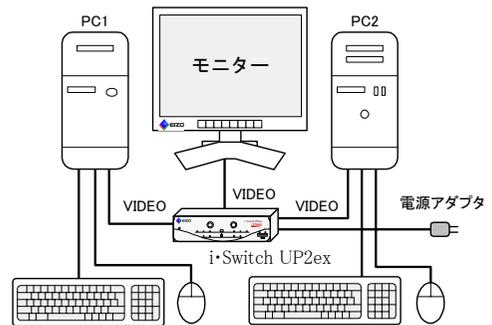
PS/2 キーボードを使用して Macintosh を操作する場合に、PS/2 キーボードの配列が日本語（JIS）の場合はオンに、英語（ASCII）の場合はオフに設定してください。誤った設定をすると入力したキーと異なる文字が表示されることがあります。

4. command⇔option キー入替

PS/2 キーボードで Macintosh を操作する場合、割り当てられた command キーと option キーを入れ替えることができます。（「Macintosh キー入力対応」P.36 参照）

5. 節電モード（P.27参照）

右図のようにキーボード、マウスを各コンピュータに接続したまま i-Switch をビデオ切替器として使用する場合は、自動的に節電モードに入らないようにオフ（無効）に設定してください。設定をオフにするとコンピュータの電源を切ってもセレクトボタンは消灯しません。



6・7. USB 切替設定

2つのディップスイッチの組合せによって前面 USB ポートの切替モードを設定します。切替モードは下表を参照してください。

USB ポート切替モード一覧

切替モード	DIPSW6	DIPSW7	動作概要	使用例
PC 連動切替	ON	ON	前、背面の2つのUSBポートはPCと連動して切替わりません。	USB キーボード・マウスを使用
USB 独立切替	OFF	OFF	前面USBポートはPCと独立して切替えることができます。(背面USBポートは常にPCと連動)	前面にプリンタなどの周辺機器、背面にキーボードまたはマウスを接続
PC1 側固定	ON	OFF	前、背面の2つのUSBポートはPCの切替に関係なく常にPC1側に固定されます。	PC1専用のUSB2.0対応ハブとして使用
PC2 側固定	OFF	ON	前、背面の2つのUSBポートはPCの切替に関係なく常にPC2側に固定されます。	PC2専用のUSB2.0対応ハブとして使用

USB 独立切替モード時の USB ポート切替方法

USB 独立切替モード (ディップスイッチ6、7ともオフ) に設定した場合は、前面 USB ポートの切替方法を以下から選択し、設定する必要があります。設定していないと前面 USB ポートの独立切替はできません。

● キーボード上のホットキーで切替える

PS/2 キーボードを使用している場合は、PC 切替用ホットキーとは別に、USB ポート切替用ホットキーを任意のキーに登録することができます。ホットキーの登録方法は「4-2 ホットキー登録」(P.26) を参照してください。ただし、この機能を使用する場合はディップスイッチ1が任意キー(オフ)に設定されている必要がありますので、PC 切替操作に **Ctrl** 2 回押しは使用できません。

● リモートスイッチで切替える

ディップスイッチ8をUSB切替(オフ)に設定すると、リモートスイッチは前面USBポートの切替に使用することができます。このときPCの切替にはリモートスイッチを使用できませんので、本体のセレクトボタンまたはホットキーを使用してPCを切替えてください。

8. リモートスイッチ切替設定

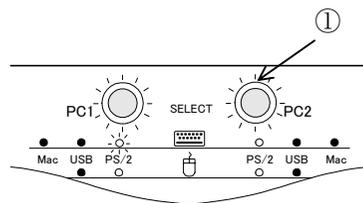
USB ポート切替 (オフ) に設定すると、USB 独立切替モード (ディップスイッチ 6、7ともオフ) の場合のみ、リモートスイッチは前面 USB ポート切替に使用することができます。USB 独立切替モード以外の場合、この設定を変更しても、リモートスイッチは PC 切替用となります。

4-2. ホットキー登録

ホットキーは、PC 切替用と USB ポート切替用をそれぞれに設定できます。登録はインターフェース設定モードに入っておこないます。初期設定ではホットキーは何も登録されていません。ホットキーは PS/2 キーボードを使用している場合のみ有効です。

PC 切替用ホットキー

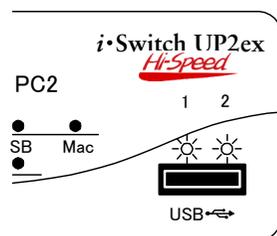
1. ディップスイッチ 1 を任意キー (オフ) に設定します。
2. PC1、PC2 のセレクトボタンを同時に 3 秒以上押し、インターフェース設定モードに入ります。
3. 両方のセレクトボタンが緑に点滅している状態 (右図) で、PC 切替に使用したいキーを押します。
4. PC2 セレクトボタン①を 4 回 (USB 独立切替モード時は 5 回) 押します。セレクトボタンの点滅が止まり、インターフェース設定モードから抜けるとホットキーが登録されます。



USB ポート切替用ホットキー

このホットキーは USB 独立切替モードの場合のみ登録、使用できます。

1. ディップスイッチ 1、6、7 をオフに設定します。
2. PC1、PC2 のセレクトボタンを同時に 3 秒以上押し、インターフェース設定モードに入ります。
3. PC2 セレクトボタンを 4 回押し、両方の USB セレクトランプが青に点滅している状態 (右図) で、USB ポート切替に使用したいキーを押します。
4. PC2 セレクトボタンを 1 回押します。セレクトボタン、USB セレクトボタンの点滅が止まり、インターフェース設定モードから抜けるとホットキーが登録されます。



注意点

- 登録したホットキーを押すことで、コンピュータへもそのままキーが入力されますので、使用するアプリケーション上では機能しないキーを登録することをおすすめします。
- PC 切替用と USB ポート切替用のホットキーを同一に設定した場合は、PC 切替用のホットキーとして機能します。
- Pause/Break キーは他のキーとの組合せでホットキーを登録すると、うまく切替わらないことがあります。これは PS/2 信号の規格上、キー入力を認識するタイミングが他のキーと異なるためです。

参考

- 登録できるキーの条件
 - － ホットキーは単独キーのほか、**Ctrl**+**Shift**+**Alt** など最大 3 つのキーの組合せまで登録できます。
 - － 登録時に同一キーを連続して押した場合は、重複キーを無視します。
(例) A→A→B→C と押した場合 A+B+C が登録されます。
- ホットキー登録後、ディップスイッチ 1 を **Ctrl** 2 回押し (オン) に戻し、一旦インターフェイス設定モードに入って何もキーを登録しなければ登録したホットキーは解除されます。その場合は、再度設定し直してください。

4-3. パワーリクエスト

パワーリクエスト表示 (電源ランプオレンジ点滅)

i-Switch は PS/2 接続のみの場合は、電源アダプタを接続しなくても動作します。ただし、消費電流の大きいキーボード、マウスを使用した場合は電圧が低下し、電源ランプがオレンジに点滅しますので、その場合は電源アダプタを接続してください。

4-4. 節電モード

電源アダプタを接続した状態で両方のコンピュータの電源を切ると、1 分後に節電モードに入り、i-Switch のランプはすべて消灯します。コンピュータの電源を入れると通常状態に戻ります。

注意点

- コンピュータによっては、電源を切った後でもキーボードに電源を供給しているモデルがあります。その場合は節電モードに入りません。
- 電源アダプタをコンセントからはずすことで確実に本体への電源供給は停止します。

参考

- この機能を無効にする場合は、ディップスイッチ 5 の設定を変更してください。
(設定方法については「4-1 ディップスイッチによる設定」P.23参照)

第 5 章 故障かなと思ったら

症状に対する処置をおこなっても解消されない場合は、販売店または当社にご相談ください。また、当社ホームページでもサポート情報を提供していますので、合わせてご利用ください。(<http://www.eizo-support.co.jp/>)

症状	チェックポイント/対処方法
1. コンピュータが切替わらない ● リモートスイッチを押しても切替わらない ● キーボードのホットキーを押しても切替わらない	<ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> リモートスイッチがジャックに確実に接続されているか確認してください。<input type="checkbox"/> ディップスイッチ 1 のホットキー設定が正しいか確認してください。<input type="checkbox"/> USB キーボードではホットキー機能は使えません。<input type="checkbox"/> Ctrl キーを続けて押す間隔が長いと切替わりません。間隔を短くし、すばやく押してください。(目安 0.5 秒)<input type="checkbox"/> USB 設定・接続をしている場合は、切替時のフリーズ・不安定動作を防止するため、4 秒間の再切替禁止時間を設けてあります。そのため連続して切替えようとしてもセレクトボタンが点滅している 4 秒間は切替えることができません。
2. キーボード、マウスの操作ができない ● USB および PS/2 接続の場合	<ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> コンピュータ、モニターの電源を切り、ケーブルが正しく接続されているか確認してください。(キーボードとマウスの接続が逆になっていたり、PC1 と PC2 へのケーブル接続が逆になっていませんか。)<input type="checkbox"/> リセットボタンを押して、キーボード、マウスを初期化してください。この操作で正常に動作しない場合は、コンピュータを再起動してください。<input type="checkbox"/> PS/2 キーボード、マウスをお使いの場合は、前面パネルのキーボード、マウス設定が正しいか確認してください。<input type="checkbox"/> お使いのキーボード、マウスにデバイスドライバが付属している場合は、両方のコンピュータにインストールしてください。(ドライバ設定やインストール方法についてはキーボード、マウスの取扱説明書を参照ください。)<input type="checkbox"/> マウスポインタが飛ぶなど異常な動作をする場合は、正しいマウスドライバがインストールされているか確認してください。

症状	チェックポイント/対処方法
2. (つづき)	<input type="checkbox"/> 電源アダプタを使用せずに PS/2 接続をしている場合、コンピュータによっては PS/2 コネクタからの電源電圧が低く i-Switch 内部の回路が正常に動作しないことがあります。その場合は i-Switch に電源アダプタを接続しコンピュータを再起動してください。
● USB 接続の場合	<input type="checkbox"/> お使いのコンピュータおよび OS が USB に対応しているか確認してください。(Windows NT は USB に対応していません。) <input type="checkbox"/> i-Switch の USB ポートはセルフパワーですので、USB 設定・接続をしている場合は必ず電源アダプタを接続してください。(電源アダプタを接続しないと動作しません。) <input type="checkbox"/> USB ケーブルを一度抜いて、再び奥まで確実に差し込んでください。キーボード、マウス (デバイス) 側の USB ケーブルを抜き差ししても変わらない場合は、コンピュータ側の USB ケーブルを抜き差しすると復帰することがあります。 <input type="checkbox"/> コンピュータの BIOS 設定の USB 機能が有効 (Enable) になっているか確認してください。(詳しくはコンピュータの取扱説明書を参照してください。) <input type="checkbox"/> USB 設定・接続をしている場合、コンピュータのモデルまたは OS によっては、起動中に切替操作をおこなったり (非選択状態になる)、同時起動をするとコンピュータの初期化通信が途切れ、「keyboard error」と表示され、キーボード、マウスの操作ができなくなることがあります。その場合は、OS の起動が完了するまで選択状態にしておいてください。
3. USB2.0 インターフェースカードを装着したコンピュータに接続すると i-Switch が動作しない、または USB が認識されない	<input type="checkbox"/> Windows98/Me 上で USB2.0 インターフェースカードをご使用になる場合は、インターフェースカードに USB2.0 ハブドライバが同梱されている必要があります。ハブドライバがない場合は、通常 USB1.1 対応になりますが、一部のインターフェースカードではハブドライバがないとコンピュータが i-Switch を認識できないことがあります。その場合は USB1.1 ポートに接続してください。 <input type="checkbox"/> Windows XP/2000 をご使用の場合、マイクロソフト社より USB2.0 に対応したホストドライバ及びハブドライバが提供されています。マイクロソフト社製ドライバは Windows Update などダウンロードしてご利用ください。

症状	チェックポイント/対処方法
4. USB2.0 対応周辺機器を接続してもハイスピードモードで動作しない	<input type="checkbox"/> USB2.0 ハイスピードモードで動作させる場合は、コンピュータのホストコントローラ、ホストドライバ、ハブドライバが USB2.0 に対応している必要があります。詳細は P.13 を参照ください。
5. 入力したキーと異なる文字が表示される	<input type="checkbox"/> 日本語キーボードをお使いの場合、Windows のキーボード設定が英語キーボードになっていることがあります。その場合、Windows の「デバイスマネージャ」内のキーボードドライバを変更してください。詳しい方法については当社ホームページのサポート情報を参照してください。 <input type="checkbox"/> DOS/V 用 USB キーボードを使用して Macintosh を操作したり、Mac 用キーボードを使用して DOS/V 機 (USB) を操作する場合は、機種間の違いにより半角/全角キー、かなキーなど使えないキーがあります。その場合は、ショートカットキーを使うか、日本語変換システムのキー割り当てを変更するなどしてください。詳しい方法については OS またはシステムのヘルプを参照してください。 <input type="checkbox"/> 日本語の DOS/V 用 USB キーボードを使用して Macintosh を操作する場合、キーボードは英語配列になります。 <input type="checkbox"/> PS/2 キーボードを使用して Macintosh を操作している場合は、ディップスイッチ 3 の日本語/英語設定が正しいか確認してください。
6. 一部のキーが効かない	<input type="checkbox"/> ワンタッチボタンなど特定のドライバソフトに依存するキー操作は動作しない場合があります。
7. マウスボタンが効かない	<input type="checkbox"/> 拡張ボタンなど、特定のドライバソフトに依存するボタン操作は動作しない場合があります。
8. 電源ボタン付き Mac キーボードで、電源ボタンが効かない	<input type="checkbox"/> 電源ボタン付き Mac キーボード (USB) をお使いの場合、キーボード上の電源ボタンは使用できません。
9. USB 設定・接続をしているときに Windows 起動前の BIOS、DOS 画面でキーボード、マウスが効かない	<input type="checkbox"/> 一部のコンピュータ (マザーボード) では Windows 起動前に USB を認識しないため、USB 接続されたデバイスは動作しない場合があります。その場合は、BIOS の設定を変更するか、PS/2 キーボード、マウスをお使いください。(詳しくはコンピュータの取扱説明書を参照してください。)

症状	チェックポイント/対処方法
10. コンピュータを起動したときに画面解像度が前と変わっている場合がある	<input type="checkbox"/> 選択されていない状態でコンピュータを起動すると、モニターとコンピュータ間にビデオケーブルが接続されていない状態と同じになります。その場合、コンピュータがモニターのプラグアンドプレイ（DDC 通信）を認識できず、コンピュータの設定状態によっては別の解像度に変更されることがあります。そのときは選択した状態でコンピュータを起動するようにしてください。または、Windows の画面プロパティ詳細のモニター「プラグアンドプレイモニターを自動的に検出する」のチェックを外してみてください。
11. 切替をおこなうとモニターの画像調整がずれている	<input type="checkbox"/> 両方のコンピュータともビデオ信号の水平、垂直周波数および同期極性が同じである場合、モニターによっては一方のコンピュータで画像調整を適正におこなっても、他方に切替えると調整がずれていることがあります。その場合は、一方のコンピュータのビデオ周波数を変更してください。
12. コンピュータの電源をオフにしても、i-Switch のセレクトボタンが点灯したままになっている	<input type="checkbox"/> 「節電モード」（ディップスイッチ 5）がオフになっていないか確認してください。 <input type="checkbox"/> キーボードパワーオン機能を有効にしたコンピュータ（マザーボード）の場合、コンピュータの電源を切ってもキーボードラインへの電源供給がおこなわれるため、i-Switch のセレクトボタンは点灯したままになります。その場合はコンピュータの BIOS またはジャンパー設定を変更してください。（詳しくはコンピュータメーカーにお問い合わせください。）
13. USB 接続しているコンピュータが省電力モード（システムスタンバイ）に入ったとき、キーボード、マウスを動かしても復帰しない	<input type="checkbox"/> 一部のコンピュータでは、省電力モードに入ったとき、USB 通信がおこなわれなくなるため、USB 設定・接続されたキーボード、マウスからは復帰できないことがあります。その場合はコンピュータの省電力モードをオフにするか、PS/2 接続のキーボード、マウスをお使いください。
14. ディップスイッチの設定が変更されない	<input type="checkbox"/> ディップスイッチの設定を変更した場合は、必ずリセットボタンを押して設定を有効にしてください。
15. 「command⇔option キー入替」（ディップスイッチ 4）をオフに設定しても入れ替わらない。	<input type="checkbox"/> 前面パネルのキーボード設定が「Mac」になっているか確認してください。 <input type="checkbox"/> この機能は PS/2 キーボードを使用する場合のみ有効です。USB キーボードでは機能しません。
16. 「節電モード」（ディップスイッチ 5）をオンに設定しても節電モードに入らない	<input type="checkbox"/> 一部のコンピュータでは電源を切った後でも、キーボードに電源を供給しているモデルがあります。その場合は節電モードには入りません。

症状	チェックポイント/対処方法
17. USB キーボード、マウスで PS/2 接続された DOS/V 機での操作ができない	<input type="checkbox"/> USB キーボード、マウスの信号を PS/2 信号に変換することはできません。そのため、PS/2 接続された DOS/V 機での操作はできません。
18. Macintosh で一部のショートカットキーが効かない	<input type="checkbox"/> PS/2 キーボードで Macintosh を操作する場合、起動時に使用するショートカットキー（Shift 押しながら起動：機能拡張書類を無効にするなど）は使えません。

第 6 章 お手入れ

本製品を美しく保ち、長くお使いいただくためにも定期的にクリーニングをおこなうことをおすすめします。

柔らかい布を中性洗剤でわずかにしめらせ、汚れをふき取ってください。

注意点

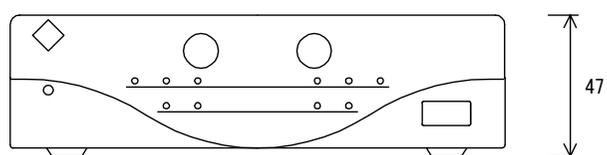
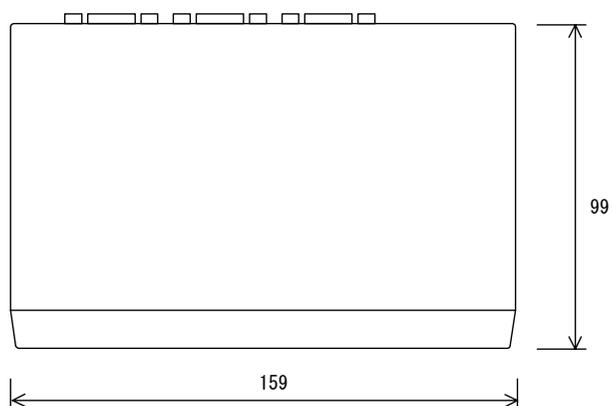
- 溶剤や薬品（シンナーやベンジン、ワックス、アルコール、その他研磨クリーナーなど）は、キャビネットをいためるため絶対に使用しないでください。

第7章 仕様

コンソールポート	キーボード	ミニ DIN6P メス (PS/2) × 1
	マウス	ミニ DIN6P メス (PS/2) × 1
	USB 周辺機器	USB (A) コネクタ × 2
	モニター	ミニ D-Sub15P メス × 1
PC1、PC2 接続ポート	キーボード/ マウス	ミニ DIN6P メス (PS/2) × 2
	USB 周辺機器	USB (B) コネクタ × 2
	モニター	ミニ D-Sub15P メス × 2
USB 規格	USB2.0 Low (1.5Mbps) /Full (12Mbps) /High (480Mbps) スピード対応 (USB1.1 対応機器も接続可能)	
消費電流 (本体)	最大 : 940mA 節電モード : 60mA	
重量	480 g (本体)	
環境条件	動作温度範囲 : 0°C~35°C、 輸送・保存温度範囲 : -20°C~60°C、 相対湿度範囲 : 30%~80% R.H. (非結露状態)	
適合規格	VCCI クラス B	

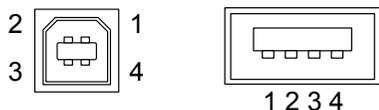
外観寸法

単位 : mm



入力信号コネクタ

●USB ポート

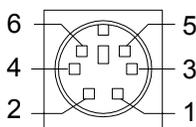


シリーズ B
コネクタ

シリーズ A
コネクタ

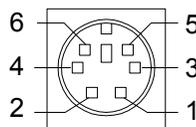
ピン No	信号名	備考
1	VCC	ケーブル電源
2	-Data	シリアルデータ
3	+Data	シリアルデータ
4	Ground	ケーブルグランド

●PS/2 キーボードコネクタおよびマウスコネクタ



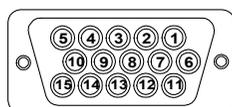
ピン No	信号名	備考
1	SDA	データ
2	N.C.	未接続
3	Ground	グランド
4	+5V	電源
5	SCL	クロック
6	N.C.	未接続

●PS/2 キーボード・マウス共通コネクタ



ピン No	信号名	備考
1	SDA_K	キーボードデータ
2	SDA_M	マウスデータ
3	Ground	グランド
4	+5V	電源
5	SCL_K	キーボードクロック
6	SCL_M	マウスクロック

●D-SUB15 (ミニ) コネクタ



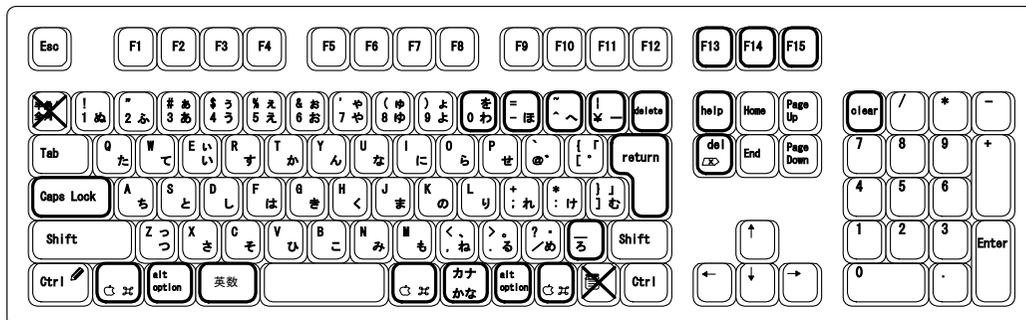
ピン No.	入力信号	ピン No.	入力信号	ピン No.	入力信号
1	赤	6	赤グランド	11	(10 ピンとショート)
2	緑	7	緑グランド	12	データ (SDA)
3	青	8	青グランド	13	水平同期
4	グランド	9	/	14	垂直同期
5	/	10	グランド	15	クロック (SCL)

第 8 章 付録

Macintosh キー入力対応

日本語 106/109 キーボード

i・Switch に日本語 (JIS) 配列の PS/2 キーボードを接続し、インターフェースを「Mac」に設定した場合は、太枠部のキーとして変換されます。×は単独では使用できません。

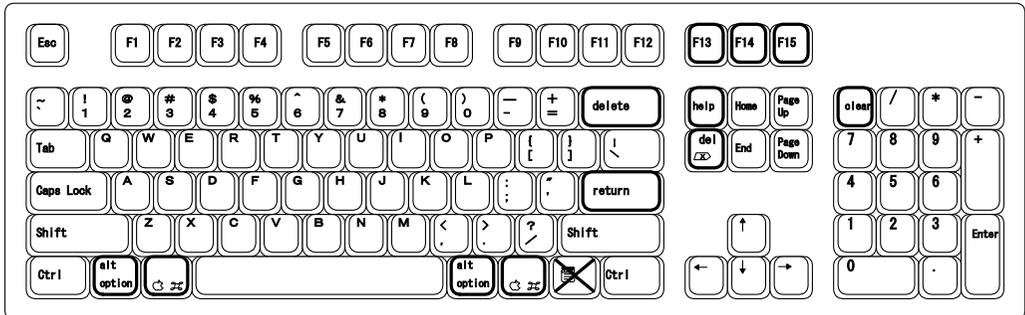


主要キー入力対応表

106/109 キーボード	Macintosh キーボード
Windows (田)	command (⌘)
Alt	option
前候補/変換	command (⌘)
無変換	英数
カタカナ/ひらがな	カナ/かな
Backspace	delete

英語 101/104 キーボード

i・Switch に英語 (ASCII) 配列の PS/2 キーボードを接続し、インターフェースを「Mac」に設定した場合は、太枠部のキーとして変換されます。×は単独では使用できません。



主要キー入力対応表

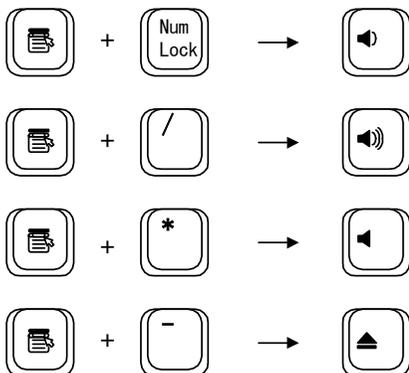
101/104 キーボード	Macintosh キーボード
左 Windows (⌘)	option
左 Alt	command (⌘)
右 Alt	option
右 Windows (⌘)	command (⌘)
Backspace	delete

参考

- ディップスイッチ 4 の command⇔option キー入替がオフになっている場合は command と option キーの割り当てが入れ替わります。(P.23参照)

Macintosh マルチメディアキーへの対応

104/109 キーボードでは、アプリケーションキーとテンキーの最上段キーを同時に押すことで、Macintosh のボリュームコントロールキー、メディアイジェクトキーに対応します。



アフターサービス

本製品のサポートに関してご不明な場合は、当社にお問い合わせください。お問い合わせ先一覧は P.39 に記載してあります。

修理を依頼される時

- 保証期間中の場合
保証書の規定にしたがい、当社にて修理をさせていただきます。お買い求めの販売店、または当社にご連絡ください。
- 保証期間を過ぎている場合
お買い求めの販売店、または当社にご相談ください。修理範囲（サービス内容）、修理費用の目安、修理期間、修理手続きなどを説明いたします。
- 修理を依頼される場合にお知らせいただきたい内容
 - ・ お名前・ご連絡先の住所・電話番号/FAX 番号
 - ・ お買い上げ年月日・販売店名・モデル名・製造番号
（製造番号は、本体の底面部のラベル上に表示されている 8 けたの番号です。
例）S/N 12345678）
 - ・ 使用環境（コンピュータ/OS・システムのバージョン/キーボード/マウスなど）
 - ・ 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）

当社では、本製品の補修用部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造終了後、最低 5 年間保有しています。補修用部品の最低保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、当社にご相談ください。

廃棄およびリサイクルについて

- 本製品の電子部品、プリント基板、金属部品等には重金属（鉛、クロム、水銀、アンチモン）、フッ素、ホウ素、シアン、ヒ素などが含まれています。ご使用後は、回収・リサイクルにお出しくください。
- 本製品は、使用後に産業廃棄物として廃棄される場合、有償でお引取りいたします。エイゾークイックコールセンターにお問い合わせください。

[エイゾークイックコールセンター]

- 電話での問い合わせ受付
（本社）TEL 076-274-2474
（東京）TEL 03-5476-8220
（大阪）TEL 06-6396-0357
月曜日～金曜日（祝祭日及び弊社休日を除く）10:00～17:00
- FAX での問い合わせ受付
FAX 076-274-2416（24 時間）
但し、センターからのご回答は同センター営業時間帯（電話受付時間帯と同じ）でおこないます。

製品に関する技術的なご質問、アフターサービスに関するお問い合わせは
最寄りのエイゾーサポートまでお願いします。

エイゾーサポート仙台

〒984-0015 仙台市若林区卸町 4-3-9 バイパス斎喜ビル
TEL(022)782-9770 FAX(022)782-9771

エイゾーサポート東京

〒330-0834 さいたま市大宮区天沼町 1-76-1 沢田ビル
TEL(048)642-7717 FAX(048)642-5233

エイゾーサポート厚木

〒243-0021 厚木市岡田 3201 番地 シカシン 75 ビル
TEL(046)229-7003 FAX(046)229-7005

エイゾーサポート名古屋

〒460-0003 名古屋市中区錦 1-6-5 名古屋錦第一生命ビル
TEL(052)232-0151 FAX(052)232-7705

エイゾーサポート北陸

〒924-8566 石川県松任市下柏野町 153 番地
TEL(076)274-6260 FAX(076)274-2416

エイゾーサポート大阪

〒660-0862 尼崎市開明町 2-11 神鋼建設ビル
TEL(06)6414-3770 FAX(06)6414-3771

エイゾーサポート福岡

〒810-0004 福岡市中央区渡辺通 3-6-11 福岡フコク生命ビル
TEL(092)762-2170 FAX(092)715-7781

* 営業時間 / 月曜日～金曜日(祝祭日および弊社休日を除く) 9:30～17:30

ご購入、販売店のご紹介、お取り扱い方法についてのお問い合わせは
エイゾークイックコールセンターまたは最寄りの株式会社ナナオ営業所までお願いします。

エイゾークイックコールセンター

〒924-8566 石川県松任市下柏野町 153 番地
本社 TEL(076)274-2474 FAX(076)274-2416
東京 TEL(03)5476-8220
大阪 TEL(06)6396-0357

* 営業時間 / 月曜日～金曜日(祝祭日および弊社休日を除く) 10:00～17:00

株式会社ナナオ

営業1部

〒105-0014 東京都港区芝 1-5-9 住友芝ビル 2号館
TEL(03)3455-7701 FAX(03)3455-7745

名古屋営業所

〒460-0003 名古屋市中区錦 1-6-5 名古屋錦第一生命ビル
TEL(052)232-7701 FAX(052)232-7705

北陸営業所

〒924-8566 石川県松任市下柏野町 153 番地
TEL(076)277-6790 FAX(076)277-6791

大阪営業所

〒532-0003 大阪市淀川区宮原 3-5-24 新大阪第一生命ビル
TEL(06)4807-7707 FAX(06)4807-7725

福岡営業所

〒810-0004 福岡市中央区渡辺通 3-6-11 福岡フコク生命ビル
TEL(092)715-7706 FAX(092)715-7781

* 営業時間 / 月曜日～金曜日(祝祭日および弊社休日を除く) 9:00～18:00

